

第45期 第2四半期報告書

(2008年10月1日～2009年3月31日)

株主・投資家の皆様へ





代表取締役社長

今井博文

ジェネリック医薬品を軸に
「独自」の医薬品事業の価値向上に
積極的に取り組んでまいります。

■ 経営環境について

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国におけるサブプライムローン破綻に端を発した世界的な金融市場の混乱により株式市場は低迷し、為替市場は大幅な変動が occurred。また、世界的な需要の減退により企業の輸出は減少し、設備投資が縮小するなど、企業収益は急速に悪化し、雇用・所得環境にも影響を及ぼすなど、景気後退の様相が一段と顕著になりました。

医療用医薬品業界におきましては、医療保険財政の窮迫が進む中で、ジェネリック医薬品使用促進の環境がより一層進みつつあります。

■ 施策と業績について

このような状況のもと、当社は、重点領域である産婦人科領域において、新薬「ルナベル配合錠」(子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤)の販売に注力するとともに、不妊症治療薬等の主力製品のシェア拡大を図りました。また、更に拡大が見込まれる入院医療包括評価(DPC)対象病院に向けては、基幹病院担当チームを中心として、新規開拓・取引拡大のための営業活動を積極的に展開してまいりました。一方、新薬販売に伴う経費及び人件費、研究開発費が増加致しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,581百万円(前年同期比10.8%増)となりましたが、営業利益は943百万円(同8.2%減)、経常利益は952百万円(同7.5%減)、四半期純利益は547百万円(同14.4%減)となり、増収減益となりました。

中期経営計画

2007年5月に「医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム」において、2012年度までにジェネリック医薬品のシェアを数量ベースで30%以上とすること、入院医療包括評価(DPC)対象病院数を1,000施設まで引き上げることが示されるなど、ジェネリック医薬品市場については、今後も4年間で60~70%程度の増加が見込まれてお

◇ 経営課題について

積極的・重点的・効率的に事業機会へ投資

競争優位な(競争しない)生存領域の確保

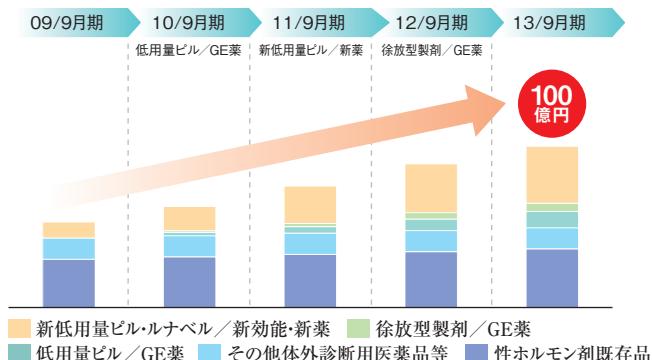
特定領域のリーディングカンパニーの確立

GE薬の事業機会と脅威が増大

後発医薬品使用促進
⇒2012年度数量シェア30%

診療報酬包括払い促進
⇒2012年度DPCを当面1,000施設

◇ マスタープラン／女性医療売上100億円



(注)女性医療・注射剤事業双方の売上を構成している製品が一部あります。

ります。

そのような環境のもと、市場の拡大に伴って事業機会が増大する一方、外資系はじめ大手製薬企業の積極的な市場参入など事業脅威が一層増しており、当社においては得意分野の女性医療と急性期医療に重点的・効率的に経営資源を投入し、競争優位な成長基盤をしっかりと構築すること、更には他社との提携を軸に外部資源を活用して新規事業も積極的に展開してまいります。

◇ 経営の基本方針

新たな取り組み、提携を通じた人材の確保、育成、外部資源の内部資源化

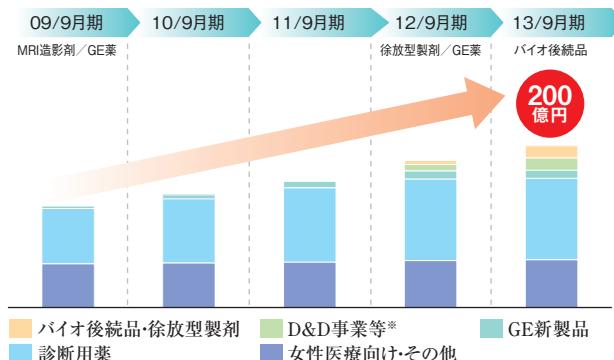
新規事業／新たな提携の具体化

- ・ バイオ後続品の共同開発／バイオベンチャー、国内新薬メーカー
- ・ 新剤型医薬品等の導入／開発型ベンチャー、国内外新薬メーカー
- ・ 新たな注射剤事業の構築／医療機器メーカー、新薬メーカー
- ・ 新たな事業領域の獲得／国内外GE薬メーカー、APIメーカー

既存コア事業の強化

- ・ 女性医療GE薬 × 新薬の相乗発展モデルの構築
- ・ DPC注射剤GE薬市場獲得

◇ マスタープラン／注射剤事業売上200億円



*テルモ株式会社とのドラッグ(医薬品)とデバイス(医療機器)の共同開発事業。

医薬品の「新たな価値の創造」を通して、 更なる飛躍を目指しています。

当社は、「医薬品を通じて社会に貢献する」、「企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する」を経営理念として掲げています。優れた医薬品を多くの方々のお手元にお届けすることを使命として、特に女性医療の分野に強みを持ち、数多くのホルモン剤を提供しています。中でも産婦人科に重点を置き、事業分野を絞ることで「独自の医薬品事業」という特徴を強みとしています。また、1995年の上場後はもう一つの柱として「尿路・血管造影剤(診断用薬)」に注目して事業展開をしております。

今後も独自の医薬品事業を軸に強みを更に生かし、事業価値の最大化に努めてまいります。



アリプロスト注10 μ g(アンプル)

循環器官用薬

血液などを循環する器官(心臓、血液、リンパ管)における疾患(高血圧、高脂血症など)に対して使われる薬剤です。

主要製品：アリプロスト



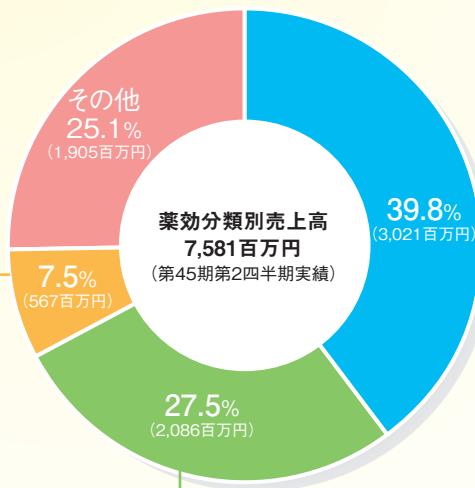
HMGフジセイヤク(アンプル)

ホルモン剤

内分泌腺の機能障害による病気に対してホルモンの不足を補う生理的利用を目的とするもののほか、ホルモンの持つ薬理作用を利用する副腎皮質ステロイド、タンパク同化ステロイドなどが含まれます。

主要製品：HMGフジセイヤク、フォルリモンP注

《薬効分類別売上高構成比》



オイパロミン300(バイアル)



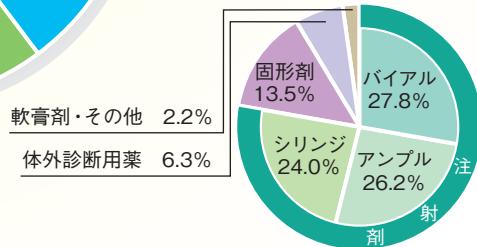
オイパロミン300(シリンジ)

診断用薬

疾患の診断のために使われる薬剤。
主要製品：オイパロミン、イオパーク

《剤形分類別売上高構成比》

(第45期第2四半期末実績)



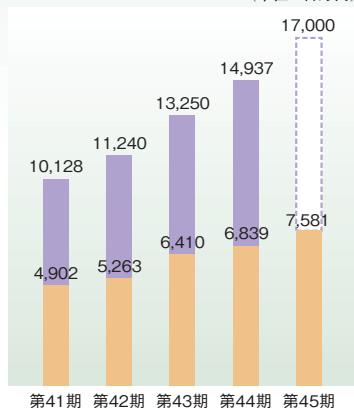
剤形分類別売上高のうち、注射剤が全体の78%を占めております(バイアル27.8%、アンプル26.2%、シリンジ24.0%)。

財務ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期 □ 予想

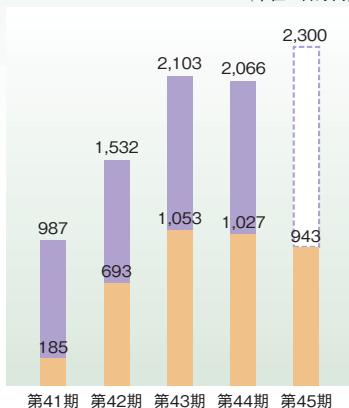
● 売上高

(単位：百万円)



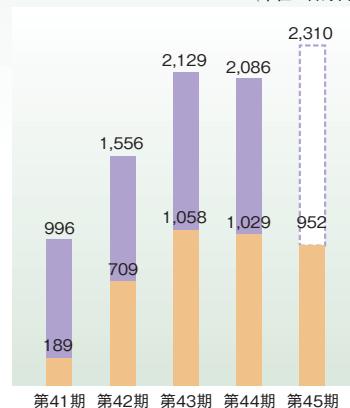
● 営業利益

(単位：百万円)



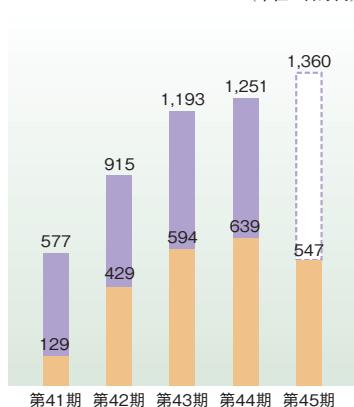
● 経常利益

(単位：百万円)



● 当期純利益

(単位：百万円)



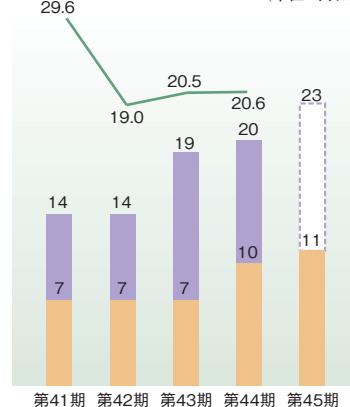
● 1株当たり当期純利益

(単位：円)



● 1株当たり配当／配当性向

(単位：円、%)



財務諸表 (要約)

四半期貸借対照表

(単位：千円)

科目	第45期第2四半期 (2009年3月31日現在)	第44期第2四半期 (2008年3月31日現在)	第44期 (2008年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	13,231,069	12,385,730	13,212,222
現金及び預金	2,418,174	2,579,386	2,275,671
受取手形及び売掛金	5,864,057	4,914,997	6,291,256
有価証券	706,454	704,095	705,481
商品	442,800	238,199	476,086
製品	1,047,467	954,726	834,827
原材料	1,392,246	1,478,962	1,120,594
仕掛品	695,416	724,877	760,037
貯蔵品	89,211	96,104	88,763
その他	577,000	695,855	661,391
貸倒引当金	△1,759	△1,474	△1,887
固定資産	7,378,789	6,993,784	7,142,892
有形固定資産	4,475,435	4,391,688	4,242,558
建物 (純額)	2,634,590	2,744,233	2,619,554
その他 (純額)	1,840,844	1,647,455	1,623,004
無形固定資産	1,254,453	831,983	1,372,300
投資その他の資産	1,648,900	1,770,112	1,528,033
資産合計	20,609,859	19,379,515	20,355,114

(単位：千円)

科目	第45期第2四半期 (2009年3月31日現在)	第44期第2四半期 (2008年3月31日現在)	第44期 (2008年9月30日現在)
負債の部			
流動負債	4,460,042	4,175,577	4,639,283
支払手形及び買掛金	2,739,061	2,271,315	2,680,819
未払法人税等	319,262	285,502	358,299
賞与引当金	389,775	394,888	571,135
役員賞与引当金	8,800	7,200	15,600
返品調整引当金	12,814	9,278	11,913
その他	990,328	1,207,392	1,001,515
固定負債	764,976	713,765	744,041
退職給付引当金	483,480	436,079	461,802
その他	281,495	277,686	282,238
負債合計	5,225,019	4,889,343	5,383,325
純資産の部			
株主資本	15,389,601	14,487,270	14,971,222
資本金	1,616,950	1,616,950	1,616,950
資本剰余金	2,841,587	2,841,587	2,841,587
利益剰余金	10,931,071	10,028,740	10,512,692
自己株式	△7	△7	△7
評価・換算差額等	△4,761	2,901	567
その他有価証券評価差額金	△4,761	2,901	567
純資産合計	15,384,840	14,490,171	14,971,789
負債純資産合計	20,609,859	19,379,515	20,355,114

四半期損益計算書（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

科目	第45期第2四半期 (2008年10月1日～ 2009年3月31日)	第44期第2四半期 (2007年10月1日～ 2008年3月31日)	第44期 (2007年10月1日～ 2008年9月30日)
売上高	7,581,604	6,839,906	14,937,516
売上原価	4,192,737	3,861,437	8,468,371
売上総利益	3,388,866	2,978,469	6,469,145
販売費及び一般管理費	2,445,403	1,950,509	4,403,055
営業利益	943,463	1,027,959	2,066,089
営業外収益	11,449	8,730	33,111
営業外費用	2,111	6,740	12,208
経常利益	952,802	1,029,948	2,086,993
特別利益	14,256	161	－
特別損失	62,186	12,687	56,964
税引前四半期(当期)純利益	904,871	1,017,422	2,030,028
法人税、住民税及び事業税	306,312	273,272	776,562
法人税等調整額	51,480	105,087	1,751
四半期(当期)純利益	547,078	639,062	1,251,714

四半期キャッシュ・フロー計算書（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

科目	第45期第2四半期 (2008年10月1日～ 2009年3月31日)	第44期第2四半期 (2007年10月1日～ 2008年3月31日)	第44期 (2007年10月1日～ 2008年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	807,320	366,124	952,631
投資活動による キャッシュ・フロー	△634,863	△571,552	△1,331,338
財務活動による キャッシュ・フロー	△128,980	△154,442	△283,492
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	43,475	△359,870	△662,199
現金及び現金同等物の 期首残高	2,981,152	3,643,351	3,643,351
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	3,024,628	3,283,481	2,981,152

●株式等の状況

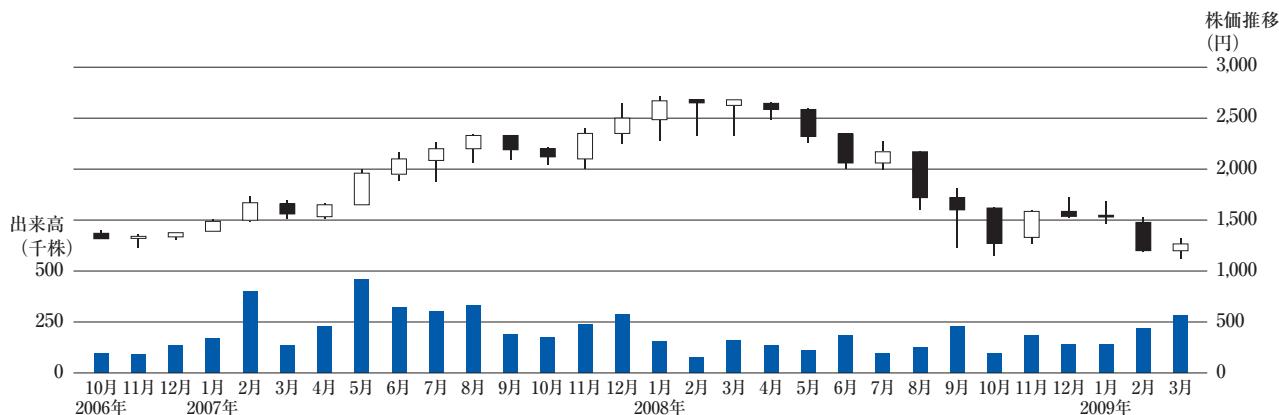
発行可能株式総数	28,220,000株
発行済株式総数	12,870,000株
株主数	1,795名

●大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
今井 博文	2,025,000	15.73
三井物産株式会社	1,930,600	15.00
有限会社FJプランニング	1,925,000	14.96
今井 道子	639,000	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	626,700	4.87
新井 規子	620,000	4.82
テルモ株式会社	563,200	4.38
ビービーエイチ ポストン-ハートランド バリュウ ファンド, インク.	455,300	3.54
アールビーシー デクシア インベスター サービスーズ トラスト, ロンドン-クライアント アカウント	195,500	1.52
富士製薬工業株式会社 従業員持株会	190,990	1.48

●株価・出来高の推移

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所 (銘柄コード: 4554)



●所有者別株式分布



金融機関	1,300,400株	10.10%
証券会社	32,871株	0.26%
その他の法人	4,738,000株	36.81%
外国法人等	1,712,400株	13.31%
個人その他	5,086,319株	39.52%
自己名義株式	10株	0.00%

●所有株数別株式分布

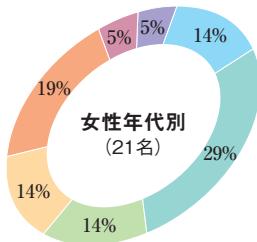
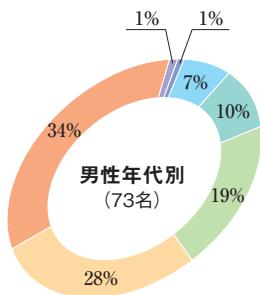


1,000株未満	286,510株	2.23%
1,000株以上10,000株未満	841,800株	6.54%
10,000株以上100,000株未満	1,695,400株	13.17%
100,000株以上1,000,000株未満	4,165,690株	32.37%
1,000,000株以上	5,880,600株	45.69%

第44期報告書で実施いたしました株主アンケートの結果をお知らせします。
 皆様の声を少しでも多く経営に反映できるよう、今後も取り組んでまいります。

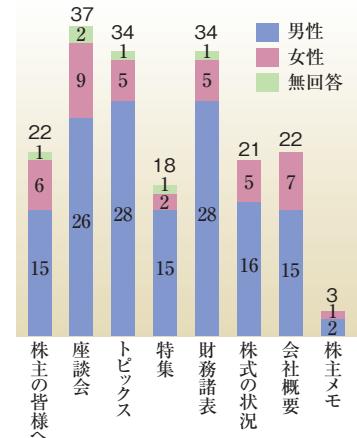
* アンケート配布1,442件／回答100件（回収率6.94%）

● 回答者の年齢



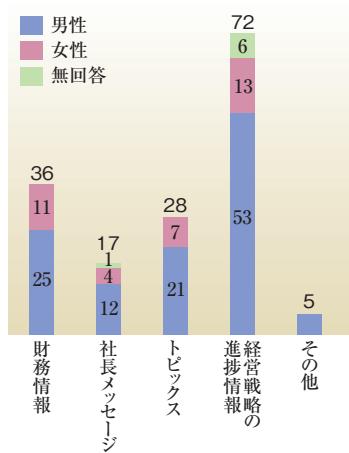
● 報告書で関心を持った内容

(複数回答) (単位:人)



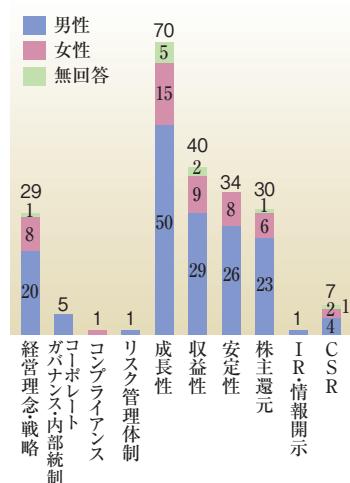
● 希望する定期的な情報提供の内容

(複数回答) (単位:人)



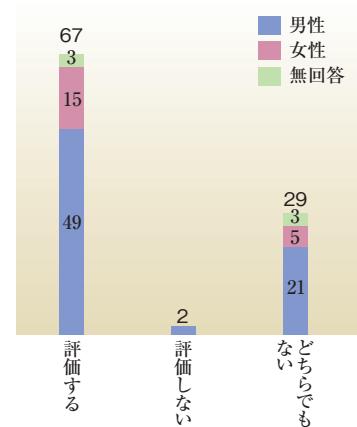
● 当社株を購入する際に重視した点

(複数回答) (単位:人)



● 経営に対する評価

(単位:人)



●会社概要

会社名 富士製薬工業株式会社 (Fuji Pharma Co., Ltd.)
 所在地 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号
 設立 1965年4月
 資本金 16億1,695万円
 事業内容 医療用医薬品の開発・製造・販売
 (注射剤、内用剤、外用剤、診断薬)

役員	代表取締役社長	今井 博文
	常務取締役	下堀 穂積
	常務取締役	広見 覚
	取締役	上出 豊幸
	取締役	小沢 伊弘
	取締役	内田 正行
	常勤監査役	中村 稔
	監査役	三村 藤明
	監査役	佐藤 明

社員数 438名

●事業所

富山工場・研究所
 〒939-3515 富山市水橋辻ヶ堂1515番地
 TEL: 076-479-9000 FAX: 076-478-3565

札幌支店
 〒003-0023 札幌市白石区南郷通8丁目北2番25号
 TEL: 011-861-7607 FAX: 011-861-7637

仙台支店
 〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹2丁目7番20号
 TEL: 022-284-9818 FAX: 022-284-8976

東京支店
 〒102-0094 千代田区紀尾井町3番19号
 TEL: 03-3264-2211 FAX: 03-3264-2266

富山支店
 〒939-3524 富山市水橋伊勢屋280番地
 TEL: 076-478-3571 FAX: 076-479-1199

名古屋支店
 〒465-0042 名古屋市名東区照が丘59番地
 TEL: 052-778-1801 FAX: 052-778-1803

大阪支店
 〒564-0053 吹田市江の木町30番27号
 TEL: 06-6368-2860 FAX: 06-6368-2867

福岡支店
 〒814-0003 福岡市早良区城西1丁目8番36号
 TEL: 092-851-5752 FAX: 092-851-5759

滋養強書 ~富士製薬工業の回顧録~

田中 健司 (元・取締役、1967年入社)

肩書きのない名刺

私たちの名刺には、肩書きがありませんでした。これは、「役職に付いた者が威張って権限を握るのはよくない」「人格は会話をする中でわかってもらえる」という会長の考えからきています。

実際の営業の場で、お客様の名刺には立派な肩書きがあり、自分にはない。信用されるような対応をしなくてはならない

と、かなりのプレッシャーでした。とにかくお客様の話をよく聞きました。そして、話に幅をもたせるために、商品知識以外の情報収集にも気を配り、お客様や状況に合った対応が取れるよう工夫をするうちに、肩書きに頼らない営業スタイルが出来上がりました。このことは、売上の数字に表れただけでなく、自分の人間形成にも大きく役立ったと思います。

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-176-417 (インターネットホームページ URL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
上場証券取引所	ジャスダック 証券取引所

■株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

生理痛の情報サイト 「生理痛情報ナビ」を開設しております

多くの女性がわずらわされる生理痛は、婦人科系の病気の重要なサインでもあります。当社では、つらい生理痛に悩む多くの女性やパートナーである男性向けに、情報サイト「生理痛情報ナビ」を開設しました。生理痛の原因や症状に関するわかりやすい解説、年代・生活スタイル別の対処方法、日常生活における工夫、治療方法などのアドバイスのほか、都道府県別の病院検索や、役立つ書籍なども紹介しています。ぜひお役立てください。



<http://seiritsuu-navi.com/>

富士製薬工業株式会社

○IRに関するお問い合わせ

本社／管理部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号
TEL: 03-3556-3344 FAX: 03-3556-4455

○当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、経営計画や決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。

<http://www.fujipharma.jp/>

